授業科目名	関係法規・制度		科目コード	1501008	
開講クラス	美容通信課程専門科	コース		学 年	2年
担当教員	原口 忠夫				
	実務経験教員 (☒ ・ 無)				
開講時期	前期・後期・ ☒ 通年・特別講義・その他		授業コマ数	30時間	
	☒ 必須 ・ 選 択 ・ 選択必須		単 位 数	1単位	
使 用 テキスト1	書 名	関係法規・制度 (美容)			
	著 者	公益社団法人 日本理容美容教育センター			
	出版社	同上			
使 用 テキスト2	書 名	美容師法関係法令集			
	著 者	公益社団法人 日本理容美容教育センター			
	出版社	同上			
参考図書	理容師美容師筆記試験 問題と解答・解説				
授業形態	☒ 講義 ・ 演習 ・ 実習 ・ 実験 ・ その他 ()				
<p><授業の目的・目標> 美容の業に対する美容師法による規制と行政による指導監督制度及びその他の関連法規を習得させ、国家資格である美容師国家試験に合格させる</p>					
<p><授業の概要・授業方針> 美容師は専門性と高度な修練を経た技術を必要とする職業でありまた、公衆衛生においても社会に対する役割は大きい。「関係法規・制度」では、単に美容の業に関する関係法規・諸制度を知るだけでなく、社会における専門職としての美容師意識を高め、職業倫理を身につけることを目指す</p>					
<p><成績基準・評価基準> 小テスト、授業態度による評価が2割、期末試験による評価が8割とする 筆記試験の結果、優 (80点以上) 良 (70~79点) 可 (60~69点) で評価 59点以下は追試</p>					
<p><使用問題集・注意事項> ・ワークブック ・美容師試験過去問題集</p>					

<授業時間外に必要な学修内容、関連科目、他>

・運営管理 ・衛生管理 ・美容保健

授業科目名	関係法規・制度
-------	---------

回	授 業 内 容	備 考
1	第1章 法制度の概要 第1節 社会生活における法の役割	P.8 ~ 10
2	第2節 法の形式	P.11 ~ 14
3	第3節 衛生法規の分類	P.15 ~ 18
4	衛生法規の概要（わが国の現行衛生法規の概念）	P.19 ~ 20
5	第2章 衛生行政の概要 第1節 法と行政	P.21 ~ 26
6	第1節 衛生行政の意義と歴史	P.27 ~ 32
7	第2節 衛生行政の種類と衛生行政機関	P.33 ~ 42
8	総合学習 1（演習問題）	
9	第3章 美容師法 第1節 美容師法の目的と構成 （美容師法の目的と歴史）	P.45 ~ 47
10	第1節 美容師法の目的と構成（美容師法の構成と行政機関）	P.116 ~ 121
11	第2節 用語の定義（美容）	P.48 ~ 55
12	用語の定義（美容師・美容所）	P.56 ~ 59
13	第3節 美容師（概説・理容師美容師養成施設関すること）	P.59 ~ 60
14	美容師試験・美容師の免許と登録	P.61 ~ 65
15	美容師の義務	P.66 ~ 76
16	業務停止、免許取消および再免許、管理美容師	P.76 ~ 85
17	第4節 美容所（概説）	P.85 ~ 89
18	美容所の開設	P.90 ~ 91
19	美容所の開設者が講ずべき衛生措置	P.91 ~ 97
20	美容所以外での業務	P.97 ~ 101
21	総合学習 2（演習問題）	P.101 ~ 103
22	第5節 立入検査と環境衛生監視員	
23	第6節 違反者等に対する行政処分	P.104 ~ 105
24	不利益処分を行う場合の手続き 違法または不当な処分についての審査請求または意義申し	P.106 ~ 109

	立て	
25	第7節 罰則 (罰則について、美容師法の罰則)	P.109 ~ 111
26	第8節 参考事項 (美容師法の歴史を除く)	P.112 ~ 115
26	総合学習 3 (演習問題)	P.116
27	第4章 関連法規 生活衛生関係営業の運営の適正化及び振興に関する 法律 理容師法 地域保健	P.121~123
28	感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する 法律 労働基準法 株式会社日本政策金融公庫法 廃棄物の処理及び清掃に関する法律	
29	関係法規・制度のまとめ	
30	期末試験	